

ガンの精密検査の結果を説明されて

昨日、2回の通院での精密検査（造影剤 MRI 検査と PET-CT 検査）、1泊2日の精密検査入院（気管支鏡検査）の結果からの医師からの説明があり、やはり肺ガン（多系ガン）で他の臓器への転移もあることからステージ4とのこと。

説明には、家内と子どもたち3人も同席したが、子どもたちの同席は大げさかなと思ったが、子どもたちが同席を希望し、改めて説明する手間も省けるし、何よりも子どもたちがそれぞれオヤジのこれからのことをどう受け止めるかはそれぞれが考えることだけに、自分としても了解した。

8月末に子どもたちに「ひょっとすると肺ガンかも…」と伝えていたが、「お父さんのこれまでの生き方を見てきたので、ガンであることも、きっと粛々と受け止め日々を暮らして行くのだろうと思っています。お父さんからのメールも、お父さんらしい！と実家にいた頃のような懐かしささえ感じます。」と、これに類する異口同音の返信があった。

それだけに、今日の医師からの説明にも、（内心は分からないが）3人ともそう動揺した言動はなかった。

何よりも、自分のことなのに冷静に第三者のこのように医師にあれこれ質問している自分に驚いた。

医師の説明では、ステージ4なので完治への治療法はなく、進行を遅らせる抗がん剤投与等の入院を勧められたので、一応入院してみることにしたが、もし、抗がん剤が自分のガンに適応しないことが分かれば、その時はその時でその後のラストステージの過ごし方を考えようと思っている。

正直なところ、今は痰に鮮血が混じっていること以外は全く自覚症状がないからか、ステージ4で余命もそう長くないと聞いても、ピンとこない。

症状やそれに伴う痛み等が出てくると、いったい自分はどう動揺するのかは全く予想できないが、「あるがまま、なるがまま」の自然体でありたいと思っているのだが……。

また、ガンを煩った当事者だからこそ見えてくることがあり、それらを通して当 HP でも何かを発信できればと思っているのだが……。

そう思っているにもなにごん相手はガンなので、今後病状、症状がどうなるか分からないので、メールをいただいても今までのように直ぐに返信がままならないことがあるかも知れませんが、その折はご理解、ご容赦ください。